



内閣府(防災担当)

相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動 検討会(第2回)議事概要について

1. 検討会の概要

日 時:平成28年3月29日(火) 13:00~15:00

場 所:中央合同庁舎第8号館4階 407会議室

出席者:平田座長、入倉委員、小鹿委員、久田委員、古村委員、翠川委員、三宅委員、山崎委員、山中委員、市村東京大学准教授、高井北海道大学准教授

2. 議事概要

市村東京大学准教授、高井北海道大学准教授より話題提供を行った後、相模トラフ沿いの巨大地震等による長周期地震動について、検討の進め方や地震動の検討手法について議論を行った。概要は、以下のとおり。

- 長周期地震動の推計に有限要素法を用いて行なうにあたり、長周期地震動の観測記録がどこまで再現できるかということが重要である。
- 大正関東地震での非線形性の影響について、地震の規模も同程度のネパール地震(2015年)の観測結果も参考にしながら検討していく。
- 首都直下地震モデル検討会で検討した大正関東地震の断層モデルについて、最新の知見を基に点検を行う。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官(防災担当)付

調査・企画担当企画官 森本 輝

同参事官補佐 池田 雅也

TEL : 03-3501-5693 (直通) FAX : 03-3501-6820